



玉川村立
玉川第一小学校

自ら取り組み、心豊かでたくましい子ども



令和3年3月2日
No. 31
文責：校長 酒井

学校だより

玉一っ子通信



感動・喜び・感謝・希望・別れ・弥生3月

最後の月は2日（本日）の鼓笛移杖式に始まり、3日の中学校入学説明会、4日の6年生を送る会、5日思い出の会（謝恩会）と、卒業を祝い記念する会が続きます。感染症の予防上、昨年度までとは少し形式を変えての実施ですが、これらの行事は、何物にも代えがたいものです。中でも鼓笛移杖式、6年生を送る会は、在校生が6年生へのこれまでの感謝の気持ちを込めて行うもので、「春からの玉一はぼくたち、わたしたちに任せてください。」という決意も込められています。

有終の美という言葉にあるように、3月は1年間の集大成となり、最後の仕上げです。学習面でのまとめ、様々な引き継ぎ、そして最大のイベント卒業式（修了式）に向けて、全校生一人一人が様々な役を担っていきます。**感動、喜び、感謝、希望、別れ**など、多くの思いを体現できる**珠玉の3月**を、大切にしていきます。



<鼓笛移杖式リハーサル>

JRC委員会の活動～自発的・自治的活動～



「おはようございます。」と、通り過ぎる子どもたちに、児童昇降口の外に立ちあいさつを繰り返すのは、JRC委員会の子どもたち。聞くと、委員会で話し合っ朝のあいさつ運動に取り組んでいるとのこと。

「みんなきちんとあいさつ返してくれますか？」

「う～ん、時々してくれない人もいます。」

「そうか、でも頑張ってるね。」

二言三言会話をし、その場を離れましたが、子ども達のあいさつ運動は登校時刻のぎりぎりまで続きました。見ると、もう一方の昇降口でも同じような光景がありました。

本校の児童会は、委員会活動を中心に行っています。4年生以上が各委員会（JRC・環境・図書・放送・保健・給食・体育）に分かれ、計画に沿ってよりよい学校生活が送れるように活動してきました。中でも、JRC委員会の活動は、あいさつ運動の他、募金やありがとう運動、ベルマーク集め等々多岐にわたります。



<朝のあいさつ運動>

児童会活動の目的の一つに、「学校生活の諸問題に気付き、そのための**自発的・自治的な活動**を行うこと」があります。あいさつがの声が小さいという学校の問題を見つけた子ども達が自発的、自治的に活動し、**少しでも学校を善くしよう**とする今回の JRC 委員会の活動は、正にその目的にかなったものです。決められたことにただ取り組むのではなく、自分たちから進んで行う姿勢は、社会人になっても必要な力です。**その基礎づくりを本校では最も重要と考えています。**

昨日は、委員会引き継ぎの会。今年度の反省をまとめ、6年生は、在校生へバトンを渡しました。



<ありがとう、調理員さん>



<しっかり記録に残します>



<その他意見はありませんか>